

神海丸通信



第19号

実習目標 (MVPを目指そう!!)

Mission (与えられた事に対して常に使命感を持ち取り組む!)

Vision (全てにおいて先を見据え、考えながら行動をする!)

Passion (この状況下の実習を情熱的に全力で取り組む!)

特集 神海丸で出たゴミってどうなっているの…?

いよいよ三崎入港が明日に迫り、実習生達はソワソワと落ち着きがありません。今回は船内生活、特に船内から出るゴミにスポットをあて特集してみようと思います。



今回、船内を案内して頂いたのは倉庫長の吉岡さんです。「生徒の生活ごみは船内にて燃えるゴミ、ペットボトルゴミ、ビン、空き缶、産業廃棄ゴミ(電池やベルト等)に分別され、燃えるゴミに関しては、船内の焼却炉にて焼却処分、ペットボトルは細かく裁断後船内倉庫へ保管し、その後陸揚げ、空き缶は一つずつ洗浄し、かさばらないように乗組員でつぶして船内倉庫で保管、ビンや産業廃棄ゴミは陸に着いた後にまとめて陸上施設にて処分します。」

次に燃えるごみを焼却処分する焼却炉を案内してもらいました。本船の焼却炉はファンネル(船の煙突囲い)の中にあります。有害物質(ダイオキシン)等が発生しないように高温でゴミを焼却できる高性能焼却炉が搭載されています。



船体洗いなどに用いる洗剤はハイゼンという洗剤を使用します。マルポール条約(海洋汚染等及び海上災害の防止に関する国際条約)適合のものを使用していますので、環境にも優しいです。

船内から出る廃棄物を記録管理しているのは一等航海士の植松チョッサーです。「船舶発生廃棄物記録簿」にゴミの処分記録や船内での保管量、陸揚げ処理の記録など様々な記載項目があります。

普段あまり意識しないごみの処理ですが、船内で多くの乗組員さんが実習生達が出すゴミの処理に携わって頂いています。実習生の為に働く乗組員さんがいてくれるから、普段の陸上と同じように困ることが少ないです。

※時々、ビンや缶を洗わないままゴミ箱に入れる実習生がいます。今回の通信で、傍(はた)で働く(はたらく)人がいるから楽が出来ている事に気づいてくれればと思います…。